

ふるさと納税型クラウドファンディング ご支援のお願い

都内初 調布市がトイレカーを導入

クラウドファンディング実施内容

能登半島地震の被災地におけるトイレ不足の課題を受け、清潔なトイレ環境を確保し、避難生活での健康被害や衛生環境悪化を防ぐためにトイレカーを導入します。また、クラウドファンディングを実施し、災害時のトイレ対策等について、広く啓発に取り組みます。

募集期間

令和6年9月1日(日)～10月31日(木)

目標金額

8,000,000円

ギフト

【寄附10万円以上】車両への氏名・団体名掲載、お礼状、感謝状
【寄附1万円以上】車両への氏名・団体名掲載、お礼状



氏名・団体名
掲載イメージ

- XXXL : 60×8.0 → 100万円
- XXL : 50×6.5 → 50万円
- XL : 40×5.5 → 30万円
- L : 30×4.5 → 10万円
- M : 25×2.5 → 5万円
- S2 : 7×1.5 → 3万円
- S1 : 7×1.5 → 1万円

※単位: CM

※使用フォント(書体)
A-OTF UD新ゴ Pro | ウェイト(太さ): DB

税金控除

- 個人による寄附は、2,000円を超える部分について、一定の上限まで、原則として所得税、個人住民税から全額が控除されます。
- 企業・団体様のご寄附は、損金算入による税控除が受けられます。
- 市民、市内企業・団体様のご寄附についても、上記同様の取扱いとなります。

市民・市内事業者も
税金が控除されます

クラウドファンディング申込方法



申込HP
(READYFOR)

① <https://readyfor.jp/projects/mintore-choful>にアクセス

② プロジェクトの寄付にすむ から進み、初めての方は はじめて利用する方は新規登録へ で登録後、ご寄附をお願いします。

※寄附方法(決裁方法)はお振込み、もしくはクレジットカードでのお支払いとなります。

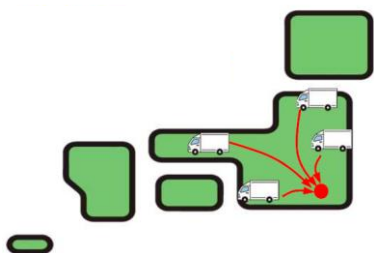
災害時の活用

災害派遣トイレネットワーク (一般社団法人 助けあいジャパン)

いざという時に、全国の仲間が駆けつけ支援し合う、助けあいの仕組みに加わります。

- ネットワーク参加自治体：22 ※2024年8月現在
- みんな元気になるトイレ：84室 ※4台は3室仕様
- 対応トイレ回数：27,500回/日

調布市が被災したら？



全国から登録団体が調布市に集まり、災害対応を支援していただきます。

他自治体が被災したら？

調布市のトイレカーを含めて、登録団体が被災地に集まり、協力して支援を行います。



能登半島地震での支援の様子

平時の活用

調布基地跡地運動広場へ常設

調布基地跡地運動広場に配備し、施設利用者の常設トイレとして活用します。



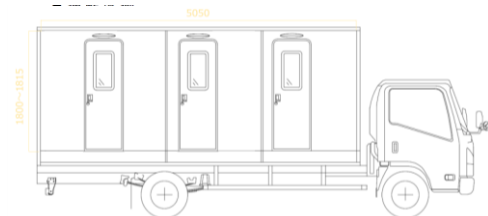
通常トイレ室内のイメージ



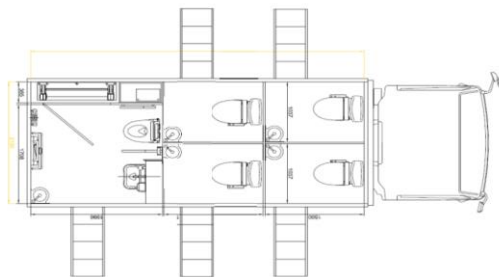
多機能トイレ室内のイメージ

市イベントでの活用

市イベントにおける仮設トイレとして活用します。



運転席側イメージ



平面イメージ

平時から利用いただくことで、災害への備えの周知・啓発に取り組みます。